



映画「男はつらいよ」に登場する「とらや」のモデルとなった「高木屋」にて

ましもトランクをさげた雪駄履きの「彼」が京成線の駅の方から歩いてきそうである。
 そんなぬくもりのある町に宮田はよく似合う。
 「帝釈天には来社したお客さまを案内することもあるんです。喜んでくださいますね」
 宮田敬之が代表取締役をつとめる日本フォーミング株式会社本社工場は、ここから車で5分ほどのところにある。

「当時の葛飾は畑ばかりでね、カエルの声がかましくらいでした。夕暮れになるとコウモリが飛んで、ほんとうに田舎でしたよ」
 会社の規模は大きくなったが、少年・宮田にしてみれば「ずいぶん寂しいところに来た」という思いしかなかった。
 そんな宮田も、6年生になると、この会社を継ぐんだという意志を作文に書くようになる。

生き抜く力。それは私に責任を持たせようとする愛情なのかもしれない。

柴又帝釈天にて

● 作文に書いた決意

日本フォーミングの創業は、宮田が生まれる1年まえの1958年。以来、一貫してマルチフォーミング加工を研究開発し、独自の成形技術で高精密な製品を提供している。とくに線材、帯板材の折り曲げ加工技術には定評がある。

「鮭が毎日食べられるから鮭職人になりたい、総理大臣にもなりたいというあくまで子どもっぽい考えのなかの選択肢のひとつではありましたがね」
 親の後を継ぐというのは、その仕事をやりたいというのとはちがう、子どもながらに義務感や宿命のようなものを感じ、「家業」として漠然と継ぐんだと思ったのだという。そこには敬三氏の微妙なリードもあった。「継げ」とは、ひとことも言わないが、配達車の助手席に乗

日本フォーミング株式会社 / 代表取締役
宮田 敬之氏
 みやた たかゆき

それにしても日本フォーミングとはスケールの大きな社名である。「先代(父 敬三氏)がつけた社名です。宮田フォーミングとするのが妥当なところなのでしょうが、日本フォーミングとしたのは、日本一のフォーミング会社にするんだという意気込みからでしょうね。まあ、すこし無謀ですけど」

日本フォーミングが創業の地、台東区浅草から現在の葛飾区金町に移転してきたのは、67年、宮田が小学2年生のときのことだ。



日本フォーミングのパネ部品

COMPANY PRO-file

日本フォーミング 株式会社
 所在地: 〒125-0042 東京都葛飾区金町 1-23-2
 TEL: 03-3608-2735
 FAX: 03-3608-7035
 担当者: 代表取締役 宮田敬之
 事業内容: マルチフォーミング加工 (線材・板材の折り曲げ加工、線ばね、板ばね、異形ばね、接点、端子類等)
 エミダス会社・工場詳細情報:
<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?1297>
 ※「エミダス工場検索」のキーワード検索「日本フォーミング株式会社」で検索できます。

「いや、もっとも、甘いもの自体あまり口にしないんですけど。私はもっぱらこっちの方なんで——」
 そう言って笑った。
 東京葛飾柴又の帝釈天にはのどかな空気が流れていた。週末は多くの観光客でこった返す映画「男はつらいよ」の舞台も、平日の午後は人もまばらだ。土産物屋さんの「主人がのんびりと紙風船で遊んでいたりする。そうした普段着ともいえる町の姿は、さながら映画のなかの世界そのものようだ。い

「いや、もっとも、甘いもの自体あまり口にしないんですけど。私はもっぱらこっちの方なんで——」
 そう言って笑った。
 東京葛飾柴又の帝釈天にはのどかな空気が流れていた。週末は多くの観光客でこった返す映画「男はつらいよ」の舞台も、平日の午後は人もまばらだ。土産物屋さんの「主人がのんびりと紙風船で遊んでいたりする。そうした普段着ともいえる町の姿は、さながら映画のなかの世界そのものようだ。い

「いや、もっとも、甘いもの自体あまりあまり口にしないんですけど。私はもっぱらこっちの方なんで——」
 そう言って笑った。
 東京葛飾柴又の帝釈天にはのどかな空気が流れていた。週末は多くの観光客でこった返す映画「男はつらいよ」の舞台も、平日の午後は人もまばらだ。土産物屋さんの「主人がのんびりと紙風船で遊んでいたりする。そうした普段着ともいえる町の姿は、さながら映画のなかの世界そのものようだ。い

せられたり、製品の袋、つめを手伝わされたりしているうちに、宮田のなかにいつの間にかそうした意識が芽生えたのだった。

高校は普通科だったが、大学は品質管理、工程管理など「管理者」としての経営工学を学ぶため管理工学科(日本大学生産工学部)を選択したのも自分の意志だ。

卒業後は修行のために愛知県豊田市にあるトヨタ自動車の下請け会社に就職する。この3年間は厳しかった。仕事はもちろん、最初の1年は6畳2間に4人が寝起きする毎日だった。次の年、配置転換で寮を移り、ひとり部屋になったときには4畳半がやたらと広く感じられたものだ。

●大いなる不安と危機感

日本フォーミングに入社した宮田は、バブル経済のまっただなかについて、大いなる危機感を抱いていた。求人難で若い社員が採用できない!

仕事はたくさんある。利益も出ている。だが、いまこのときがいくらか順調でも、社員がいなければ会社は潰れる。

当時、肩書きは専務だったが、実質的に会社を牽引していた宮田は不安でいっぱいだった。新卒の社員をひとりも採用できない年がつづいていた。宮田が辛いのは、なにより、



若手社員と談笑する宮田社長

会社の経営を次世代にバトンタッチできないことだった。仕事がなければ規模を縮小すればいい、トラブルは全力で処理すればいいのだ。そんな苦労はなんでもない。しかし、ひとがいなければ、会社はそこで途切れてしまう。

宮田は求人票を持って東京千葉、埼玉の高校をまわった。ただ求人票を郵送するだけでは印象が薄い。実際に向いて、先生方に会い、自分の会社をすこしでも理解してもらおうと必死に話した。工業高校だけではない、商業でも、進学校といわれる学校でも関係なかった。すこしでも可能性があれば足をはこんだ。その数は50校にも及ぶだろう。それでも、応募がない。そういう時代だったのだ。

宮田は次の一手を打った。95年に茨城県八郷町にツクバファクトリーをオープンしたのは、本社

●生き抜いてゆく力

シートの面々が床に雑魚寝しているなんてことがよくありましてたっけ」

宮田は最近、敬三氏が自分の後を継げと口に出して言わなかったことや、高校・大学の受験にいつさい干渉しなかったことについて思い至ることがあるという。

「先代は、いつさい口出ししないことで、自分で判断して生き抜いてゆく力を

工場が手狭になったということもあつたが、バブル期の求人難も大きな要因だった。東京での求人は難しくても、新天地でならば展望が開けると考えたのだ。

なにより会社を大きくするのは経営者の夢だ。敬三氏は理想のフォーミング工場を、まっさらな大地に築こうとした。夢を実現するためには、まず広いスペースが必要だった。

そうして、敬三氏の夢の結実であるツクバファクトリーのお披露目パーティーは、氏自身の引退宣言の場でもあった。

「先代は新工場のオープンの場で自分で自分に用意した花道にしたのでしよう。借金だけ残してね」

と宮田は笑った後で、

「まあ、先代としては、自分がいつまでも頑張っているのは、次の世代が育たないと思ったのでしようし、この借金を背負わせることで私に責任を持たせようとしたのかもしれない

私に持たせようとしていたのではないかと思うんです。もしかしたら親として子どもにできることは、なにより生き抜いてゆく力の必要性を自ら感じとらせることなのかもしれない

宮田の表情が、2人の娘を持つ父親の表情になった。

親の表情になった。



フォーミング技術は職人技術の極み、段取りに2日以上かかることもある



フォーミング金型の製作風景

ません」

小学6年生の作文に書いたように宮田は日本フォーミングの代表取締役に就任した。

「フォーミングの市場は小さい」と宮田は言う。さらに、

「機械が高いし、セット換え(金型の交換)がたいへん。その機械を扱える職人さんを育てるのにも時間がかかります」

プレス屋さん、バネ屋さんのごく一部門で行なっているフォーミング。だが、それだけに、製造業界にとってフォーミングを専門とする会社の必要性は高い。

「これは、夢」という言葉の持つ意味とはちがうかもしれない。それでも、フォーミングという仕事が必要である限り、この仕事を通じて製造業と社会に貢献しつづける。こと、それが私のなによりの願いなんです」

宮田氏とエヌシーネットワークには浅からぬ因縁がある。エヌシーネットワークの創立メンバーが、日本フォーミングの社屋の2階を間借りしていたのだ。宮田もインターネットに製造業の未来を予感し、その場を提供したのだった。

「私はパソコンなんてものが苦手だ、それを教えてくれるっていう条件で部屋を貸したんです。私が朝、出社すると、徹夜仕事をしたエヌ



なにより会社を大きくするのは経営者の夢だ。

文 = 上野 歩(うへの・あゆむ)

作家、専修大学講師。「恋人といっしょになるでしょう」で小説すばる新人賞を受賞。著書に「チャコールグレイ」「朝陽のようにそと」(以上、集英社)、「愛は午後」(文芸社)など。公式ホームページ(上野亭かきあげ井) <http://www1.odn.ne.jp/ayumu/>

(写真/今 祥雄)